

# くれは会通信

KUREHA COMMUNICATION

呉羽会の基本理念



“すべてのひとを、  
笑顔にするために”

Your smile  
reaches all

## 年頭のご挨拶



## “希望に満ちた明るい職場へ”

理事長 赤津晋太郎

新年明けましておめでとうございます。

令和7年元旦を迎え、皆様には健やかに新年をお迎えのことと心からお喜び申し上げます。

昨年は能登を震源とする「令和6年能登半島地震」があり災害に対する平時からの備えの重要性を痛感しました。被害を受けられた皆様の1日も早く平穏な日々を取り戻すことを心よりお祈り申し上げます。新型コロナウイルスが蔓延しておりましたが徐々に病院も平常を取り戻しつつあります。流行の長期化に伴い、患者さんやご家族様には大変ご心配をおかけしております。5類に移行し1年以上が経過しましたが、冬の訪れとともにコロナも増加傾向となり、さらに数年落ち着いていたインフルエンザやノロウイルスなどの各種感染症の増加が懸念されます。長期間にわたり面会制限も完全には解除できず地域の方にはご迷惑をおかけしておりますが今しばらくご理解ご協力賜りますようお願いいたします。

昨年の5月29日に理事長・院長を拝命し半年が経ちました。この半年で私自身成長できたものがあるかと自問自答しているところですが、病院としては、職員の皆様方の努力のおかげで新中長期経営計画「未来創造への挑戦」の第1歩を踏み出せたと考えております。

昨年は介護保険・医療保険の同時改定の年でありました。4月から「医師の時間外労働の上限規制」が導入され、医師並びに医療従事者の働き方改革が

始まり、決められた時間内に業務終了するために効率化や協力・助け合いが必要であり、職場環境の改善も継続していく必要があると思われまます。介護保険制度改正では、今年は団塊の世代が後期高齢者となる「2025年問題」の年となりました。人手不足の中で質の高い介護サービスを持続的に提供できる体制づくりの移行及び診療報酬対応に関しては大変な作業であり職員の皆様には大変感謝しております。

当院は地域密着型多機能病院として救急から慢性期・在宅に至るまで多くの機能を有しております。「地域医療構想」「地域包括ケアシステム」などの施策に基づき、医療・介護制度と地域のニーズを踏まえた変化に対応すべく2024年10月から18床を急性期から地域包括ケア病床に転換しました。介護老人保健施設においても2023年度に超強化型へ移行しております。今後も社会情勢や医療情勢の大きな変化が訪れることがあると想定され、その実現のためにも心理的安全性が高い組織を目指し当院の基本理念である「すべてのひとを、笑顔にするために」を実現すべく安全で安心できる質の高い医療と快適な入院生活を提供できるように職員一丸となってチーム医療に取り組んでまいります。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。皆様にとってより良き一年になりますよう祈念いたします。

# 年頭所感

理念を磨き、目指せ「プラチナ組織」!



常務理事  
事務局長  
田中 稔

あけましておめでとうございます。着任から9回目のお正月を迎えました。この間を振り返れば、着任前、当時の緑川院長から初めて耳にした「2025年問題」への対応に明け暮れた9年間でした。コロナ禍など想像もしていなかった出来事もありましたが、この間に呉羽会は大きく成長しました。

先ず医療介護にとって最も大切な「人」は、理念に共感して入職してくださる方など、9年間で100名ほど増え、450名余の組織に成長しました。次に「設備」投資は9年総額で23億円超。先進の医療介護機器に更新されています。最後に自己「資本」比率は実質マイナスの状態から25%程度に向上しました。

重要なことは「2025年問題」の実態として、増加する高齢者救急への対応力が向上したことです。昨年度の救急応需件数は1,979件で9年前と比べ1,100件ほど増加。病床機能や老健機能も地域ニーズにマッチした構成に転換。全てが職員一人ひとりの努力の賜物であり、心より感謝申し上げます。

2025年を迎えた今年も、2030年のあるべき姿を目指した「中長期経営計画」に掲げた課題を着実に解決しながら、職員の皆さまが自ら考え行動できる様、個々のスキルアップ、チーム医療の推進、医療介護連携、地域との連携を強化。「すべての人を、笑顔にするために」と言う理念に磨きをかけ、心理的安全性とキャリア安全性を高めた「プラチナ組織」を目指し、安全良質なサービスを通して、いわき市南部の医療介護拠点として安心で豊かな地域社会の実現に貢献し続けましょう!



看護部長  
小川 ひとみ

新年あけましておめでとうございます。

昨年は新しい取り組みとしてアメニティ利用者が使用するオムツの見直しをおこない、新しいオムツを導入しました。ただ「新しいオムツを導入する」だけではなく、オムツの当て方について院内資格制度を取り入れ、看護の質の向上を目指した取り組みとなりました。

今年巳年です。「巳(へび)」は脱皮を繰り返すことから成長や変化の象徴、また新しいことが始まる年であるとされています。少子高齢化が進む中、時代の流れに応じた質の高い看護・介護を提供し続けることは非常に大変なことですが、今年も看護部一丸となって多職種と協力し合いながら、何か新しいことに取り組んでいけたらと考えております。

本年もどうぞよろしくお願いいたします。



事務局長補佐  
兼健康管理センター部長  
桑原 達也

新年おめでとうございます。

昨年も当健康管理センターの運営に際しまして、多大なるお力添えをいただき心より御礼申し上げます。私事です昨年18年ぶりに健康管理センターの担当となり、昔とのギャップを新鮮に感じながら業務にあたっております。生産年齢人口の減少が著しい近年ですが、各事業所様における「健康経営」を推進する機運の高まりの影響もあって、昨年の当センターでの人間ドック受診者数は過去最高となりました。本年も皆さまのご要望に応えられるように医師をはじめとしたスタッフの拡充のほか、サービス提供体制の整備に努めて参りたいと思います。また、スタッフ一同誠実な対応をより一層大切にすることで、信頼される健診施設を目指して参りますので、引き続きご指導ご鞭撻のほど宜しくお願い申し上げます。



介護医療院師長  
石塚 優子

新年明けましておめでとうございます。

昨年は呉羽会の皆様、ご利用者様、ご家族様、並びに多くの方々にお世話になり感謝申し上げます。介護医療院は開設から6年が過ぎ、入所者様に「安心して過ごせる生活の場」を提供するべく日々努力を重ねております。

病院の1病棟に開設している施設のため、見た目は病院と変わりありませんが、その中で写真や絵を飾り、行事に合わせたイベントを行ったりと、季節ごとの取り組みを実施しております。今年も利用者様だけでなく、訪れた人が笑顔になれるような施設作りを目指してまいりますので、本年もどうぞよろしくお願いいたします。



ガーデニア  
施設部長代理  
坂本 和守

新年あけましておめでとうございます。

日頃より、ガーデニアに対しまして、格別なるご支援、ご協力を賜り、またご指導を頂き、心から厚く御礼申し上げます。本年もより一層のご支援を賜りますよう、職員一同心よりお願い申し上げます。

旧年中は、感染症対策に追われる一方、介護DX推進を目標に見守りロボットを追加し、転倒転落の減少や見守り時間の効率化により生み出した時間をサービスの充実に役立てることができました。

また地域リハビリテーション活動として、地域のデイサービスへリハビリ専門職を派遣しリハビリテーションの指導と地域連携を図りました。「専門職の方から指導して頂ける運動は(ご利用者様の)やる気違います。」とデイサービス事業所からも好評です。

新たな取り組みをする楽しさ、達成した時の喜びを共感できる組織作りと、安心安全で地域の皆様に選んで頂ける施設になれるよう、邁進致します。

本年もどうぞよろしくお願いいたします。

◎職員募集中◎ 看護師・薬剤師・診療放射線技師・臨床検査技師・理学療法士・作業療法士・言語聴覚士・介護支援専門員・介護福祉士

随時、病院見学を受け付け致しております。

■お問い合わせ窓口

総務課人事担当/西田・佐藤